

環境保全と省資源への取り組み

GREEN COMPANY



お子様でも分かり易い
Kidsコーナーも
あります。

Pentel[®]

CONTENTS

会社概要・編集方針	1
ごあいさつ	2
事業概要	3
環境活動に対するペんてるの方針・環境綱領	4
環境保全活動	5
ペんてる環境活動の管理・推進体制・工場の推進組織図	6
環境に配慮した商品開発	7～8
各事業所の取り組み	9
社会貢献・コミュニケーション	10

会社概要

設立	昭和21年3月
本社	〒103-8538 東京都中央区日本橋小網町7-2
電話番号	03-3667-3333 (代表)
URL	www.pentel.co.jp
資本金	4億5千万円
主な事業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 文具事務用品(画材、筆記具など)の製造・販売 2. 電子機器(デジタイザー、タッチパネル、ハンディターミナルなど)の製造・販売 3. 産業用ロボット、産業用自動組立機、射出成型用精密金型、大型インクジェットプリンター、精密ハンドプレスの製造・販売 4. 化粧品部品、文具事務用品等のOEM関連製品の製造・販売

編集方針

本報告書はペんてるの環境保全活動をご理解頂くために、各事業所の代表による編集委員会を結成し、まとめられました。

環境省環境報告書ガイドライン(2000年版)や既発行の各社報告書を参考にしながら、報告項目・内容を整理しました。

まだ、不十分な点もありますが今後逐次改善していく予定です。

本報告書はお子様にもご理解頂けるよう「Kids コーナー」を設けています。

なお、データ類は弊社ホームページに適宜掲載させて頂きますのでご利用下さい。

Kids コーナー



ペんてるという会社はみんなが使ってくれよんやえのぐな
どの文房具だけでなく、コンピュータの入力機器や産業
用ロボット、大型のインクジェットプリンターまで作って
いるんだ。



ごあいさつ



地球環境の保全と汚染予防は人類にとって最も重要な課題となっています。

社会の重要な構成員である企業は自らの使命を認識し、社会的責任の一環として環境問題への取り組みが強く求められています。

このような中、創業時よりの基本理念である『資源は人類共通の財産である、少ない材料で、その何倍もの価値ある商品を作り出して、世の中にお返ししなければならない。それがメーカーの使命である。』を掲げ、各種の環境への配慮をした製品を開発してまいりました。

その例として1960年の木軸鉛筆に替わるノック式シャープペンシル、及びハイポリマー替芯、1976年の動物の毛を使用しない穂先(ナイロン製)を使ったペんてる筆などがあります。更に、1996年には「ペんてる環境綱領」を策定し、経営管理から生産・販売までのあらゆる企業活動に地球環境の保護と汚染防止に取り組む姿勢を反映させております。

この結果、1998年7月に吉川工場が筆記具業界で初めて環境管理の国際規格「ISO14001」の認証を取得致しました。続けて国内2工場(茨城工場、草加工場)、及び海外2工場(アメリカロス工場、台湾台北工場)がその取得を完了しており、フランスのパリ工場も認証取得に向けて活動中でございます。

環境に配慮した製品としてリサイクル材料などを使ったエコマーク商品、グリーン購入法適合商品、長く使用できる製品や、マルチプレス(缶・ペットボトルつぶし器)のような環境援助製品を提案させて頂いております。

更に、自然保護活動への応援として、WWF(世界自然保護基金)への協賛もさせて頂いております。

今後もペんてるは日本・海外の工場の「環境にやさしい工程」で、「環境にやさしい製品」を世界中のあらゆる人の手にお渡しできるよう製造・販売をさせて頂きます。

本報告書が少しでも皆様の「ペんてるに関する環境への取り組み」についてご理解頂けるものとなれば幸甚でございます。

ペんてる株式会社
代表取締役社長

坂江 圭馬

Kids コーナー



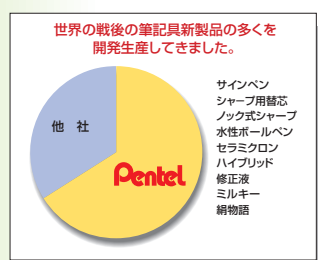
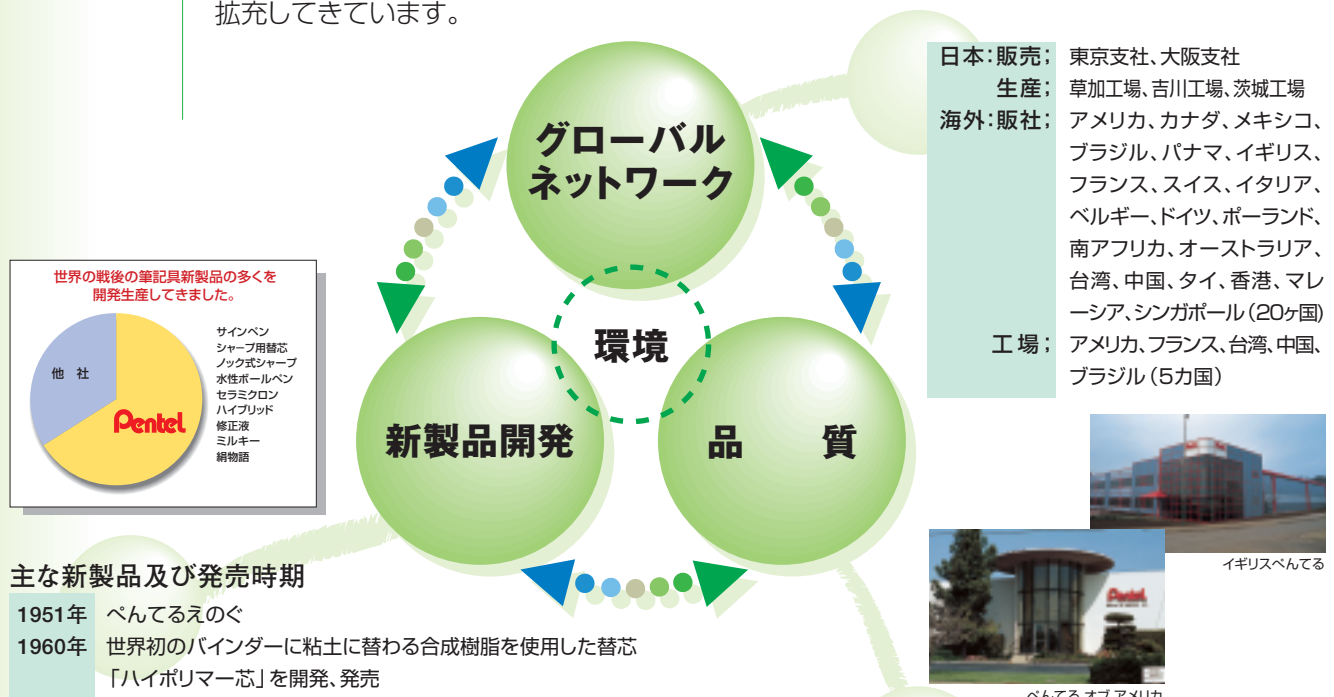
ペんてるは会社が出来た当時から環境をこわさないよう会社全体で取り組んでいます。
木を使わなくてもいいように、ノック式シャープペンシルを開発したり、動物の毛を使わ
なくてもいいように、人工のナイロン毛の筆を開発したのもペんてるなんだ。世界中で
生産・販売しているので世界中にある工場に環境を保持するための規格(ISO14001)
に合格していることを認めてもらう活動をしています。WWFなど自然保護を積極的に
活動している団体に協力をしているよ。(WWFについては10頁に詳しい説明があるので見てね!)



事業概要

ぺんてるは筆記具や画材を中心に数々の新製品を開発し、常に徹底した品質管理のもと、価値ある商品を創り続けています。

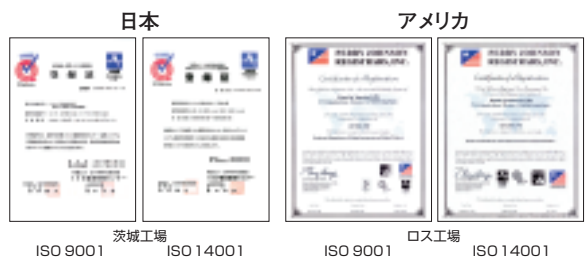
また、創業直後より研究・開発・生産・販売が有機的に結合した事業を展開し、国内はもとより“優れた品質の製品に国境はない”との考えの下、海外への展開も進め、昭和28年の輸出を皮切りに、昭和40年には香港、シカゴに支店を開設。そしてアメリカ、フランス、台湾などに工場を開設し、グローバルネットワークを拡充してきました。



主な新製品及び発売時期

- 1951年 ペンてるえのぐ
- 1960年 世界初のバインダーに粘土に替わる合成樹脂を使用した替芯「ハイポリマー芯」を開発、発売
- 1963年 ペンてるサインペンを発売、当時のジョンソン米大統領に愛用されていることがニュースウィーク誌に掲載され、全世界に広がる。更に1965年にはジェミニ6号と7号の宇宙でも活躍
- 1972年 世界初の水性ボールペン「ボールペンてる」開発、発売
- 1975年 ペンビュータ(在庫管理機)を発売、電子機器部門に本格参入
- 1976年 動物毛を使用しない穂先(人工ナイロン毛)のカートリッジ式毛筆「ペンてる筆」開発、発売
- 1980年 組立ロボット(PUHA)を開発、省力機器部門に進出
- 1983年 刷毛式に替わる世界初のペン型の修正液を開発、発売
- 1989年 中性ボールペン(ゲルインキ)「ハイブリッド」を発売、ゲルインキのボールペンの先鞭を付ける。
- 1996年 ハイブリッド「ミルキー」が爆発的人気を博した。
- 1996年 シャープペンシル用替芯「Ain」発売
- 2002年 人間工学に基づき設計された「エルゴノミックス」シリーズ開発、発売

お客様に絶えず安心して製品をお使い頂けるよう開発した新製品や既存品の品質が均一になるよう、品質管理に力を入れ、1952年には草加工場が絵の具、クレヨン、JIS表示許可工場となり、1976年には文具業界としては初かつ唯一のデミング賞実施賞を受賞、1995年の茨城工場のISO9001認証取得を皮切りに海外工場も認証取得をしてきています。また、世界各国の製品安全性規則への対応を推進しております。



環境活動に対するぺんてるの方針

グローバルな視点に立ち、循環型経済社会システムへの転換に向けて、企業活動の全ての側面に環境保全と省資源、省エネルギーへの対応を配慮したぺんてる環境綱領を設定し、全社に徹底するとともに、各事業所ごとに環境方針を作成し、具体的目標を掲げて積極的に環境保全活動を推進しています。

環境綱領

基本理念

ぺんてる株式会社は地球社会のよき企業市民として、企業の社会的責任の重要性を認識し、地球環境保護と環境汚染防止を企業経営の重要な理念として、全社員の環境意識を高め、会社運営の全ての面で人と環境に調和した企業活動を推進します。

行動指針

- 1 企業活動全般にわたり、設計開発から廃棄にいたる全ての段階において環境保全を配慮した製品とサービスを開発し、提供します。
- 2 環境に関連する国内外の関係法および協定、約束を遵守し、継続的な環境の保全と向上を図ります。
- 3 海外事業展開に際しては、相手国の環境保全の確保に努めます。
- 4 新規事業の計画に当たっては、事前に適切なアセスメントを実施し、環境保全に努めます。
- 5 社員に対しては、環境保全に関する情報の提供と教育を行うとともに、顧客、行政、地域社会に対しても環境保全のために必要な情報を提供します。
- 6 この方針を全社員、全組織に周知するとともに、環境保全に関する知識と技術の向上に努め、全社一丸となった環境管理活動を推進します。

Kids コーナー



ぺんてるは世界各国で文房具を生産しています。そして、世界中の工場環境のことを考えながら生産しているよ。新製品を作るときも環境や安全性を充分考えて作っています。出来上がった製品はみんなが安心して使えるように、日本や世界中の品質基準や安全基準に合わせています。



Kids コーナー

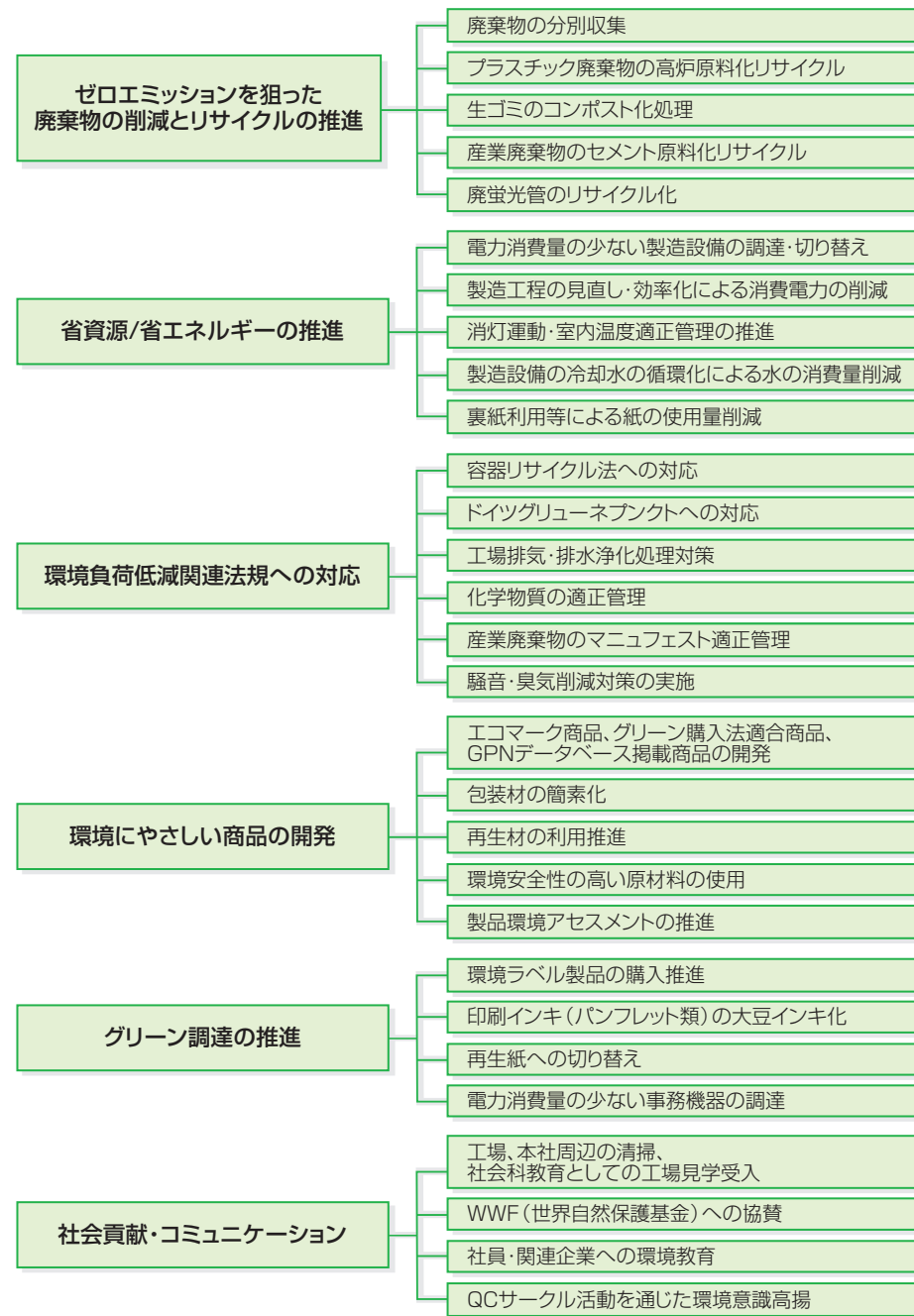


会社(ぺんてる)が、自主的に環境にやさしい活動をするにはどうしたらよいかを考え、それをぺんてるの社員全体が活動するための考え方をまとめたものが、環境綱領なんだよ。その中には日本や世界の環境を守るための世の中のルールや法律が入っているよ。そして、ぺんてるではそれらを守って生産しているよ。どのようなルールや法律があるかいつもぺんてるの会社の人たちは勉強しているよ。



環境保全活動

ぺんてるでは環境保全活動を推進するために、Reduce(リデュース:廃棄物の発生抑制)、Reuse(リユース:再使用)、Recycle(リサイクル:再資源化)の3Rを切り口に、かつ世界各国での生産活動をしていることから、以下の項目を選定しています。



Kids コーナー

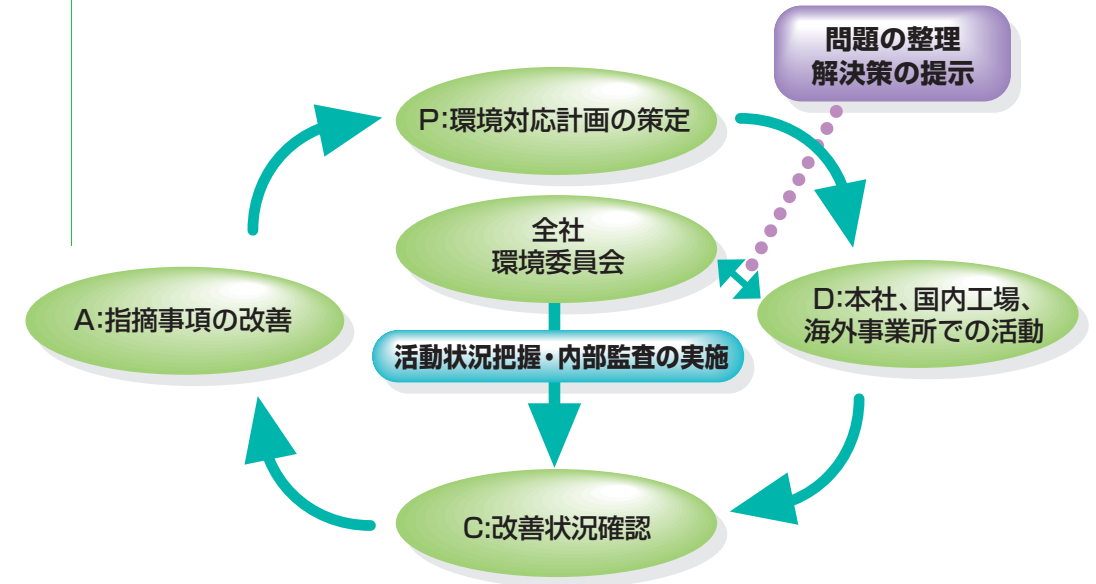


製品を考えると時から環境へどのような影響を与えるか考え、生産するときは環境にやさしく作れるのか、販売・お客様の手にわたった時にはリサイクルがしやすいかなどを考えています。又、会社全体で資源やエネルギーを大切にす活動を進めています。



ぺんてる環境活動の管理・推進体制

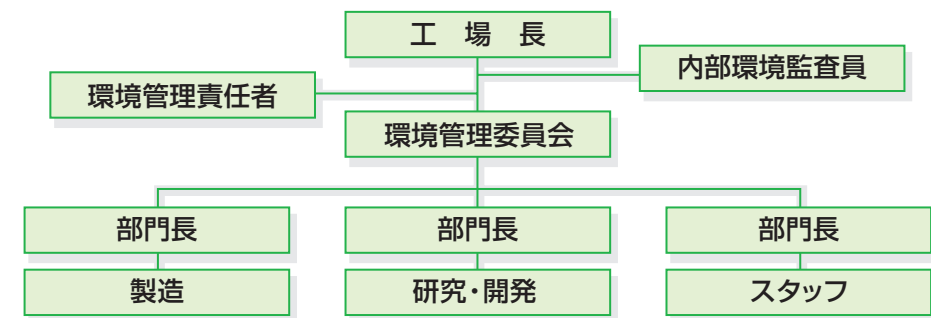
ぺんてるでは1997年に環境管理・推進の組織を立ち上げ、環境管理活動を推進してきました。その推進は全社環境委員会が中心となり対応してきました。また、工場ではISO14001の認証を取得して、工場環境管理委員会がその維持、向上推進の中心となって活動しています。



工場の推進組織図

環境マネジメントシステムの充実

効果的な環境マネジメントを実施するため、役割・責任及び権限を定め、各工場毎の組織・体制で推進しています。また、本システムの確実な実行、向上をするため、内部監査員の計画的な育成、そのレベルアップを実施しています。



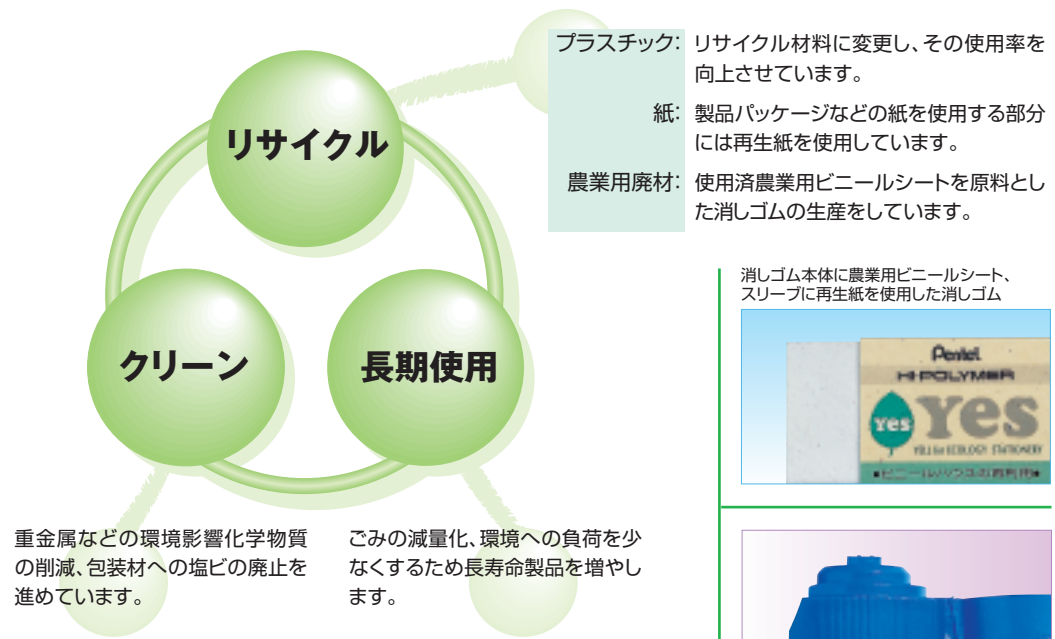
Kids コーナー



会社がみんなであわせて、環境保全に取り組むことができるように組織(チーム)をつくってどのようなことに、どのような方法でやっていくか年度の初め(毎年4月)に決めて一年間活動をします。



環境に配慮した商品開発



再生材使用の油性ボールペンと残芯少機構シャープ



消しゴム本体に農業用ビニールシート、スリーブに再生紙を使用した消しゴム



再生材を使用したえのぐチューブ

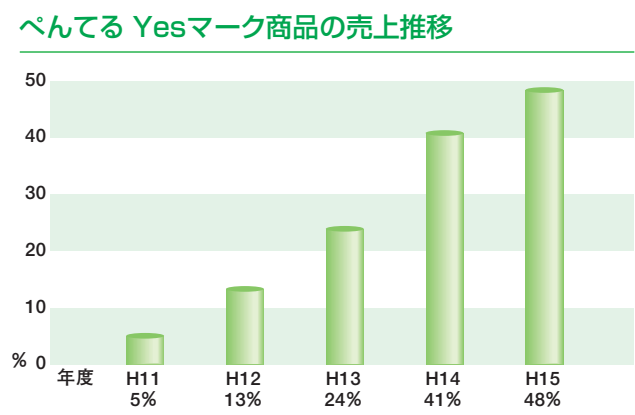


オール樹脂製の油性ペイントマーカー

YELL for ECOLOGY STATIONERY

Yes (Yell for ECOLOGY STATIONERY) は、再生材を使用する事、インキを補充できるようにする事等、環境への負荷が少ないぺんてるのエコロジー商品（≒エコマーク商品、グリーン購入法適合商品）です。

Look ペんてるでは、ホームページにて環境情報提供、エコロジー商品の掲載など行っております。ぜひご覧ください。



環境を意識した新製品開発の履歴

- 1960年 木を使用しない 世界初のノック式シャープペンシル
- 1960年 強く濃く滑らかに書ける、粘土をバインダーとしないハイポリマー芯
- 1967年 カートリッジを使用した水性ボールペン
- 1976年 穂先に動物毛を使用しない(ナイロンを使用)ぺんてる筆
- 1991年 ぺんてるペン (NN50など) 人と地球に優しい商品の開発開始
- ぺんてるリサイクルマークの作成・表示
- エコマーク商品、グリーン購入法適合商品、GPN掲載商品の開発
- 2000年 エフ水彩えのぐポリチューブ エコマーク認定取得

自然保護への対応

- 1974年 茨城工場排水処理施設北茨城地区モデル工場 茨城県緑化コンクール最優秀工場
- 1960年 WWF(世界自然保護基金)に協賛開始
- 1995年 オゾン層破壊物質の全廃(製品)
- 1997年 茨城工場 地球にやさしい企業(緑化部門)茨城県
- 2002年 茨城工場 地球にやさしい企業(環境管理監査部門)茨城県

記念植樹 (毎年環境月間の6月に実施)

環境に配慮し、徹底した品質管理で品質を作りこみ、皆様に喜んでお使いいただける商品を生産しています。

日本の事業所

- 1952年 草加工場 業界第1号として絵の具、クレヨン(JISマーク表示許可工場)
- 1976年 デミング賞実施賞受賞

ISO認証取得状況	《ISO9001》	《ISO14001》
茨城工場	1995年	1999年
吉川工場	1995年	1998年
草加工場	1998年(電子機器事業部)	2000年
	1999年(機設事業部)	

海外の事業所

ISO認証取得状況	《ISO9001》	《ISO14001》
アメリカ ロス工場	1999年	2001年
フランス パリ工場	2000年	準備中
台湾 台北工場	1999年	2002年
中国 天津工場	2003年	準備中



Kids コーナー

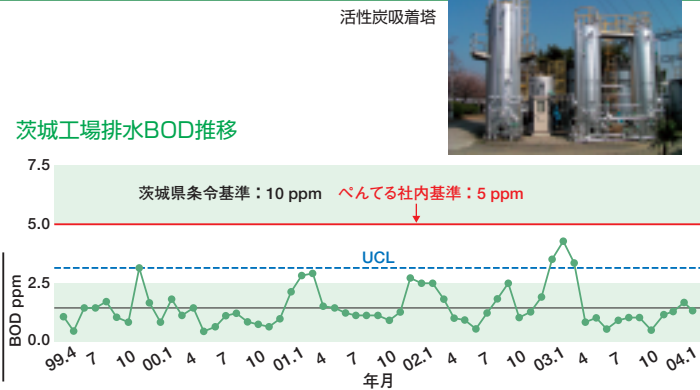
商品開発ではプラスチックや紙などのリサイクル材をできるだけ使ったり、替芯やカートリッジを交換することで製品本体をできるだけ捨てないで長く使えるように、また有害な物質を使わないようにしています。そういったエコロジー製品は毎年どんどん増えています。更に世界中のぺんてるが手をつなぎ、環境にやさしい活動をしています。環境にやさしい商品を作るために、品質もしっかり見ているよ。

各事業所の取り組み

「省エネルギー、省資源の推進」「廃棄物の削減とリサイクルの推進」および「環境汚染物質の削減および適正管理」を重要課題として取り組むとともに、社員の全員参加で意識の高揚を図っています。

最新の排水処理による水質保全に取り組んでいます。

日本一水質汚染基準が厳しいと言われている霞ヶ浦に近い茨城工場ではえのぐ、マーカークラスを製造しており、毎日約600m³の排水があります。このため年々水質汚染防止装置を取り入れ「凝集沈殿法」だけでなく「活性汚泥法」「活性炭吸着法」を導入し、併用しています。

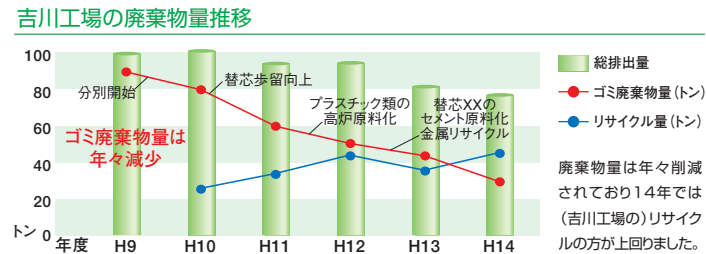


活性炭吸着塔



資源の有効活用に取り組んでいます。

吉川工場、草加工場、茨城工場とも分別の実施、製造工程の改善による歩留まりの現象、製造機器の改善による効率化、及び工程排出品のリサイクル推進などを進め、廃棄物の削減に取り組んでいます。



社員一人一人の創意工夫に取り組んでいます

環境ポスターコンクール

QCサークルで自主的に取り組んでいます。



リサイクルバザー風景

不用品を持ち寄り、社員全員で環境意識を高めています。



Kids コーナー



みんなで力をあわせて、目標を立て、それに向かって環境保全活動をしている。廃棄物もただ捨てるだけでなく、分別して、後で再生(リサイクル)がしやすいようにしているよ。環境にみんなが関心を持ってもらうためにイベント(標語募集、リサイクルバザー)をなど工夫しているよ。参考になるかも?!



社会貢献・コミュニケーション

WWF



WWF(世界自然保護基金)は、絶滅の危機に瀕した生物種の保護活動を目的として、1961年に設立された民間自然保護団体で、べんてるはこのマークを付けた商品を通じてWWFの自然保護活動を応援しています。



世界児童画展

世界児童画展は、1970年の大阪万国博覧会を機にスタート。

子どもたちの感性と理性の調和のとれた成長を願い、子どもたちがみずからつくりだす造形文化の支援と、国境を越えて世界の人々をつなぐ国際相互理解を目的として開催されているこの展覧会に協力しています。

私たちは世界児童画展を通じて、21世紀をにう子どもたちが作品に込められた世界にさまざまな文化、風土に触れ、自然のうちに国際親善やともに暮らす喜びの芽を育むとともに、そのような造形美術教育の振興に資することを願っています。



地域とのコミュニケーション

工場周辺の清掃・環境美化



工場内外を定期的に、全員参加で清掃し、環境美化に努めています。



玉里村 広報誌の写真

写生会

野外や自然の中で、絵を描くことを通じて自然の景観の素晴らしさや、親子のふれあいなどを通じて、子供達の豊かな創造力や情緒を育むことを目的に開催される全国各地の写生会に協力しています。



社内環境教育 協力会社との会合風景

全従業員を対象に定期的に教育を実施。特に協力工場に対しても、工場環境管理システムや廃棄物分別の方法について指導・支援を実施しています。



エコプロダクツ

毎年東京で開催される「エコプロダクツ」に出展し、べんてるの環境への取り組みをアピールしています。



Kids コーナー



WWFに協力、自然保護への協力をしているよ。えのぐの箱の裏には細かな紹介があるので、是非見てね。会社の中だけではなく、その周辺の清掃作業なども工場みんなで実施しているよ。べんてるの製品の部品などを作っている協力会社にも環境についてのお願いをしているよ。





第34回世界児童画展 外務大臣賞受賞作品
“花と牛” 6才女 ベトナム

べんてる株式会社 〒103-8538 東京都中央区日本橋小網町7-2 TEL (03) 3667-3333 (大代表)

お問合せ窓口：環境報告書 編集委員会事務局 TEL (03) 5695-7292



環境保護の為、このパンフレットは非木材紙(ケナフ)にVOC(揮発性有機化合物)成分ゼロの地球にやさしい大豆油インキを使用し、製版フィルムを使用しないCTP印刷で作成しています。

© 2004-3-10224-1(3)/(2005.7) KANKYO-04 © SEZAX



べんてるは印刷サービスのグリーン購入に取り組んでいます

発行：2004年3月